



平成27年6月30日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名 代表取締役社長 藤 澤 信 義
(コード番号 8 5 0 8)
(上場取引所 東京証券取引所 市場第2部)
問い合わせ先 執行役員経理部長 常 陸 泰 司
電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

(訂正・数値データ訂正) 「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

平成27年5月14日に公表いたしました「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記
載内容につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後のデータも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

<サマリー情報>

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	<u>15,908</u>	<u>△15,604</u>	△20,593	118,060
26年3月期	11,434	△17,775	74,464	131,349

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	<u>15,452</u>	<u>△15,148</u>	△20,593	118,060
26年3月期	11,434	△17,775	74,464	131,349

<添付資料：6 ページ>

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、15,908百万円（前年同期比39.1%増）となりました。これは主に、親愛貯蓄銀行における新規貸付残高の増加や債権譲受けに伴い銀行業における貸出金が43,878百万円増加したことや、J T貯蓄銀行やJ Tキャピタル等の株式取得に伴う負ののれん発生益を14,573百万円計上したこと、さらにN P L債権の買取りに伴い、買取債権が6,151百万円増加したことにより資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益が11,016百万円、銀行業における預金の増加額が60,232百万円、主に債権譲渡を要因とする営業貸付金の純減額が12,789百万円、割賦立替金の純減額が3,249百万円とそれぞれ資金が増加したことによるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、15,452百万円（前年同期比35.1%増）となりました。これは主に、親愛貯蓄銀行における新規貸付残高の増加や債権譲受けに伴い銀行業における貸出金が43,878百万円増加したことや、J T貯蓄銀行やJ Tキャピタル等の株式取得に伴う負ののれん発生益を14,573百万円計上したこと、さらにN P L債権の買取りに伴い、買取債権の純増額が6,151百万円となったことにより資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益が11,016百万円、銀行業における預金の増加額が60,271百万円、主に債権譲渡を要因とする営業貸付金の純減額が12,789百万円、割賦立替金の純減額が3,249百万円とそれぞれ資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、15,604百万円（前年同期は17,775百万円の資金の減少）となりました。これは主に、「K Cカード」ブランドの譲渡により事業譲渡による収入が27,327百万円と資金が増加した一方で、積極的なM&Aの取り組みを行ったこと等により、連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出が34,368百万円、固定資産に係るキャッシュ・フローの純減額が4,926百万円、有価証券に係るキャッシュ・フローの純減額が1,516百万円、投資有価証券に係るキャッシュ・フローの純減額が1,359百万円とそれぞれ資金が減少したことによるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、15,148百万円（前年同期は17,775百万円の資金の減少）となりました。これは主に、「K Cカード」ブランドの譲渡により事業譲渡による収入が27,327百万円と資金が増加した一方で、積極的なM&Aの取り組みを行ったこと等により、連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出が34,436百万円、固定資産に係る資金の純減額が4,926百万円、有価証券に係る資金の純減額が1,516百万円、投資有価証券に係る資金の純減額が1,359百万円とそれぞれ資金が減少したことによるものであります。

<添付資料：19ページ、20ページ>

5. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)		
銀行業における預金の増減額 (△は減少)	△10,612	60,232
(省略)		
担保に供している預金の増減額(△は増加)	215	884
その他	△1,154	△5,538
小計	5,598	57,649
(省略)		
小計	△3,850	50,470
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,434	15,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	79	△779
(省略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	△14,662	△34,368
(省略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,775	△15,604
(省略)		

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)		
銀行業における預金の増減額 (△は減少)	△10,612	60,271
(省略)		
担保に供している預金の増減額(△は増加)	215	360
その他	△1,154	△5,509
小計	5,598	57,193
(省略)		
小計	△3,850	50,014
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,434	15,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	79	△256
(省略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	△14,662	△34,436
(省略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,775	△15,148
(省略)		

以上